

業績目録

〔看護学専攻〕

〔総合基礎看護学講座〕

【論文著書】

(英文論文)

1. Myung-Ae Choe, Noriko Kuwano, Kyung-Sook Bang, Mi-Kyoung Cho, Rika Yatsushiro, Yuki Kawata, Japanese and Korean Nursing Students' Motivation for Joining Disaster Relief Activities as Nurses in the Future. Society of Trauma Nurses, 8(1): 39-47, 2017
2. Yumiko Tsuchihashi, Yuko Matsunari, Yumiko Kanamaru, Survey of difficult experiences of nurses caring for patients undergoing radiation therapy: An analysis of factors in difficult cases. Asia-Pacific Journal of Oncology Nursing, 5(1): 91-98, 2018 (Date of Web Publication 13-Dec-2017)

(和文論文)

1. 寿々木剛志, 八代利香, 田畑千穂子, 離島・へき地における医療・福祉職者の防災に関する認識. 日本職業・災害医学会誌, 65(2): 68-74, 2017
2. 持留里奈, 八代利香, 医師が医療職および患者・家族との関係において直面する倫理的ジレンマ. 日本看護倫理学会誌, 9(1): 61-63, 2017
3. 藤井宝恵, 宮腰由紀子, 折田真紀子, 八代利香, 小西恵美子, グラーツ医科大学(オーストリア)における放射線看護教育の現状. 日本放射線看護学会誌, 5(1): 63-67, 2017
4. 藤井宝恵, 宮腰由紀子, 折田真紀子, 八代利香, 小西恵美子, サルベトリエール看護学校(フランス)における看護基礎教育の現状. 看護実践の科学, 42(4): 62-67, 2017
5. 永井智子, 小西恵美子, 小林真朝, 梅田麻希, 小野若菜子, 三森寧子, 麻原きよみ, 保健師基礎教育における放射線教育の意義と効果. 日本放射線看護学会誌, 5(1), 39-46, 2017
6. 松川京子, 松成裕子, 原子力発電所立地3県に勤務する保健師の放射線に関する知識および認識の比較調査. 日本放射線看護学会誌, 5, 1, 56-62, 2017
7. 金丸由美子, 土橋由美子, 松成裕子, 放射線治療における看護ケアの研究の現状と課題—国内外文献の検討—. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 27, 1, 29-38, 2017
8. 今村圭子, 訪問介護員の自己効力感についての探索的研究—尺度構造の検討—. 鹿児島国際大学大学院学術論集, 第9集, 1-8, 2017

【学会発表】

(英文)

1. Myung-Ae Choe, Noriko Kuwano, Kyung-Sook Bang, Mi-Kyoung Cho, Rika Yatsushiro, Yuki Kawata, Difference in Motivation for Joining Disaster Relief Activities as a Nurse in the Future between Japanese and Korean Nursing Students, EAFONS 20th, 2017年9月(香港)

(和文)

2. 田畑千穂子, 八代利香, 無医島に暮らす住民の将来暮らす場所に対するニーズ, 日本看護倫理学会第10回年次大会, 2017年5月(大分)
3. 楠元裕佳, 八代利香, 看護職派遣経験がないへき地医療拠点病院の看護管理者の認識から見える課題. 日本看護倫理学会第10回年次大会, 2017年5月(大分)
4. 岡村美帆, 松成裕子, 看護職者のリスクコミュニケーションに関する文献検討—放射線看護領域における現状と課題—. 第6回日本放射線看護学会学術集会, 2017年9月(名古屋)
5. 牧谷美佳, 松成裕子, PET検査, RI検査時における看護職者の被ばくに関する文献検討. 第6回日本放射線看護学会学術集会, 2017年9月(名古屋)
6. 松尾知奈都, 山口拓允, 清武菜保子, 瀧脇未妃, 志方香織, 新川哲子, 松成裕子, 畠山とも子, 今村圭子, 吉田浩二, 浦田秀子, 折田真紀子, 高村昇, 看護学生の放射線に対する知識・関心・不安の関連性に関する調査. 第6回日本放射線看護学会学術集会, 2017年9月(名古屋)

業 績 目 録

7. 園田和子, 松成裕子, 低体重児出産リスク評価尺度作成のための質的研究—尺度項目抽出のプロセス—, 第76回日本公衆衛生学会総会, 2017年11月 (鹿児島市)
8. 下吹越直子, 八代利香, ケアマネージャーの訪問看護導入時の期待と阻害—職種別の比較—, 第76回日本公衆衛生学会総会, 2017年11月 (鹿児島市)

【報告】

1. 松成裕子, 鹿児島大学地域防災教育研究センター事業における緊急被ばく医療体制の構築に関する意見交換会の取り組みについて, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 27(1): 47-53, 2017
2. 松成裕子, 平成28年度鹿児島大学地域防災教育研究センター報告書, (頁2, 13, 103), 2017

【講演】

1. 八代利香, 倫理的配慮. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成28年度実習指導者講習会, 2016年1月 (鹿児島市)
2. 八代利香, 看護実践における倫理. 公益社団法人沖縄県看護協会 平成29年度認定看護管理者ファーストレベル研修, 2017年7月 (沖縄)
3. 八代利香, 看護実践における倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成29年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程, 2017年8月 (鹿児島市)
4. 八代利香, 倫理的視点を用いた問題解決. 平成29年度県立病院認定看護師ネットワーク会研修会, 2017年10月 (鹿児島市)
5. 八代利香, 看護論Ⅱ. 公益社団法人鹿児島県看護協会 平成29年度実習指導者講習会, 2017年12月 (鹿児島市)
6. 小西恵美子, 日々の実践に注ぐ倫理の眼. 日本看護倫理学会第10回年次大会教育講演, 2017年5月 (大分)
7. 小西恵美子, 放射線看護の過去と未来. 日本放射線看護学会第6回学術集会基調講演, 2017年9月 (名古屋)
8. 松成裕子, 特定分野ジェネラリスト (G ナース) 育成研修. 鹿児島大学医学部歯学部附属病院, 鹿児島, 2017年6月 (鹿児島市)
9. 松成裕子, 「放射線看護の教育カリキュラム 教育現場の視点から」, 「原子力災害に対応できる看護職のための放射線教育とは～災害現場から学ぶ～」福井県看護セミナー, 2017年11月 (福井)
10. 中俣直美, 鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理Ⅰ, Ⅱ」, 鹿児島県看護協会2017年1月 (全9時間) (鹿児島市)
11. 中俣直美, 看護研究の進め方・まとめ方 (グループ指導) 全11回, 鹿児島市医師会病院看護部研修, 2017年1月～12月 (鹿児島市)
12. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 健康状態の把握, 経管栄養概説, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2017年2月 (鹿児島市), 5月 (鹿児島市), 9月 (奄美市), (全3回)
13. 中俣直美, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 家族以外の介護者のための喀痰吸引等講習会, 日本 ALS 協会鹿児島県支部, 2017年2月, 6月, 11月 (鹿児島市), 9月 (奄美市), 10月 (薩摩川内市), 12月 (鹿屋市), 7月 (西之表市), (全8回)
14. 中俣直美, 平成28年度看護職員の能力向上対策研修会 (特定分野における実習指導者講習会) 講義「実習指導の原理」, 鹿児島県看護協会, 2017年7月 (鹿児島市)
15. 中俣直美, 「私の今そしてこれから～先輩に学ぶ～」, パネルディスカッション, 2～3年目研修会・交流会, 鹿児島県看護協会, 2017年8月 (鹿児島市)
16. 中俣直美, 喀痰吸引概説, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 2017年8月 (鹿児島市)
17. 中俣直美, 今村圭子, 山口さおり, 喀痰吸引・経管栄養の実習, 特別支援学校における特定認証交付のための喀痰吸引等講習会, 鹿児島県教育庁義務教育課特別支援教育, 2017年8月 (鹿児島市)
18. 中俣直美, ALS 療養者の現況, 公開講座「在宅 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 療養者の支援」2017年9月 (鹿児島市)
19. 中俣直美, 今村圭子, 田中久美子, 山口さおり, 花原 洋, 才田隆一, 米澤里恵, 吉永健嗣, 吉元美由紀, 山中希世美, 在宅人工呼吸器装着患者のケアに必要な看護技術, 公開講座「在宅 ALS (筋萎縮性側索硬化症) 療養者の支援」, 2017年9月 (鹿児島市)
20. 中俣直美, 鹿児島県臨床指導者研修会 講義「実習指導の原理Ⅰ」, 鹿児島県看護協会, 2017年12月 (全6時間) (鹿児島市)
21. 中俣直美, 介護職による医療的ケア 第3号研修 喀痰吸引等講習会について, 鹿児島市難病患者等療養生活支援のための研修会, 2017年9月 (鹿児島市)
22. 山口さおり, 看護過程概論. 平成29年度看護職対象研修「看護実践のプロセスⅡ」, 鹿児島大学医学部・歯学部附属病院看護部,

業績目録

2017年6月（鹿児島市）

【その他】

1. 八代利香, 第10回日本看護倫理学会年次大会 海外招聘講演座長, Pamela J. Grace: Advanced Practice Nurses: Prepared to Lead and Support 'Good' Practice (よい実践を導き支える高度実践看護師), 2017年5月(大分)
2. 松成裕子, 「災害医療: 一次避難所設営机上演習」講演会司会, 2017年3月(鹿児島市)
3. 大出順, 中村充浩, 坂田三允, 田中高政, 足立智孝, 山田聡子, 八代利香, 臨床看護師の論文投稿をじゃましてはなんだ?, 交流集会, 日本看護倫理学会第10回年次大会, 2017年5月(大分)
4. 松成裕子, 平成29年度第17回鹿児島大学防災セミナー, 総合司会, 2017年8月(鹿児島市)
5. 松成裕子, 浦田秀子, 新川哲子, 吉田浩二, 井瀧千恵子, 今村圭子: 「看護基礎教育における放射線看護学の教授方法の検討」交流集会, 日本看護研究学会第43回学術集会, 2017年8月(名古屋)
6. 松成裕子, 「原子力災害対応セミナー」, 総合司会, 2017年9月(鹿児島市)
7. 松成裕子, 福島県立医科大学の出前講座「災害リスクへの対処方法と意思決定の支援に関する共考のためのリスクコミュニケーション活動」, 総合司会, 2017年10月(鹿児島市)
8. 八代利香, 第76回日本公衆衛生学会総会, 第7分科会座長, 2017年11月(鹿児島市)
9. 八代利香, 第70回日本薬理学会西南部会, 看護薬理学セミナー座長, 2017年11月(鹿児島市)
10. 松成裕子, 第76回日本公衆衛生学会総会, 座長, 2017年11月(鹿児島市)
11. 松成裕子, 平成29年度 防災・日本再生シンポジウム「桜島大規模噴火を想定した災害医療体制の構築」, 総合司会, 2017年12月(鹿児島市)

〔臨床看護学講座〕

【論文著書】

(著書)

1. 木佐貫彰, 大石充, 竹中俊宏, Fabry 病. 心エコーハンドブック 心筋・心膜疾患(竹中克, 戸出裕之 編 金芳堂, 東京) p.94-99, 2017

(和文論文)

1. 清水佐智子, 岸野恵, 原頼子, 身近な人を亡くした看護学生が緩和ケアの講義でつらく悲しくなった講義内容とそのとき感じ考えたこと, Palliative Care Research 12(2): 183-193, 2017
2. 清水佐智子, 益満智美, 韓国におけるホスピス緩和ケア研修報告 Seoul St. Mary's Hospital Hospice & Palliative Care Center 見学を通して, 鹿児島大学保健学科紀要 27: 87-92, 2017
3. 武亜希子, 堤由美子, 大腸癌患者の永久的ストーマ保有による喪失体験の意味探求の仕方. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会会誌20(4): 410-419, 2017
4. 益満智美, 石橋絵理, 伊藤成美, 齊藤史, 島田和佳, 布施夢紀, 松垣萌々, 清水佐智子, 韓国中央大学赤十字看護大学との交流における学生の学び—OJO スキンリハビリテーションセンター訪問 趣味レーション授業参加を通して—, 鹿児島大学保健学科紀要27: 79-85, 2017

(英文論文)

1. Harumi Arai, Toshiyuki Watanabe, Fumi Hayashi, Mami Ueda, Misako Hisamatsu, Schizophrenic Patients with Cancer Hospitalized at Psychiatric Hospitals in Japan, Journal of Palliative Medicine20(1): 5, 2017
2. Yamamoto K, Koretsune Y, Akasaka T, Kisanuki A, Ohte N, Takenaka T, Takeuchi M, Yoshida K, Iwade K, Okuyama Y, Hirano Y, Takeda Y, Tsukamoto Y, Kinugasa Y, Nakatani S, Sakamoto T, Iwakura K, Sozu T, Masuyama T; Japanese Aortic Stenosis Study-2 (JASS-2) Investigators. Effects of vitamin K antagonist on aortic valve degeneration in non-valvular atrial fibrillation patients: Prospective 4-year observational study, Thromb Res., 160: 69-75, 2017
3. Yuasa T, Takenaka T, Higuchi K, Uchiyama N, Horizoe Y, Cyaen H, Mizukami N, Takasaki K, Kisanuki A, Miyata M, Ohishi M, Fabry disease., J Echocardiogr, 15: 151-157, 2017

業績目録

【学会発表】

(和文)

1. 久松美佐子, 堤由美子, 福崎伊豆美, がん患者配偶者の抗がん剤治療の効果が望めなくなってきたと感じた時期の体験, 第37回日本看護科学学会学術集会, 2017年12月(宮城)
2. 福崎伊豆美, 久松美佐子, 堤由美子, がん患者配偶者の抗がん剤治療の効果があると感じている時期の体験, 第37回日本看護科学学会学術集会, 2017年12月(宮城)
3. 久松美佐子, 荒井春生, 植田麻実, 単科精神科病院でがんを合併した統合失調症患者の病状説明と治療の選択, 第22回日本緩和医療学会, 2017年6月(神奈川)
4. 荒井春生, 久松美佐子, 植田麻実, 単科精神科病院における緩和ケアの必要性, 第22回日本緩和医療学会, 2017年6月(神奈川)
5. 植田麻実, 荒井春生, 久松美佐子, がんを合併した統合失調症患者の転帰をめぐる課題, 第22回日本緩和医療学会, 2017年6月(神奈川)
6. 堀添善尚, 高崎州亜, 宮田昌明, 湯浅敏典, 茶園秀人, 窪田佳代子, 水上尚子, 木佐貫彰, 大石充, The novel index for estimation of markedly elevated pulmonary vascular resistance in patients with pulmonary hypertension, 第81回日本循環器学会総会・学術集会, 2017年3月(石川)
7. 水上尚子, 中村幸美, 大園七瀬, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 湯浅敏典, 高崎州亜, 堀添善尚, 木佐貫彰, 大石充, チーム医療セッション教育講演5. 心不全症例の心エコー報告書の書き方・読み方, 第81回日本循環器学会総会・学術集, 2017年3月(石川)
8. 堀添善尚, 高崎州亜, 茶園秀人, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 木佐貫彰, 大石充, 心エコーにて心室中隔右室側に低エコー病変を認めた心サルコイドーシスの2例, 第65回日本心臓病学会学術集会, 2017年9月(大阪)
9. 平方翔太, 湯浅敏典, 赤尾光優, 茶園秀人, 堀添善尚, 高崎州亜, 水上尚子, 木佐貫彰, 宮田昌明, 大石充, 発熱後急速に収縮性心膜炎へ進展した急性心膜炎の1例, 日本内科学会 第318回九州地方会, 2017年8月(鹿児島市)
10. 高崎州亜, 樋口公嗣, 小島聡子, 川添 晋, 窪菌琢郎, 堀添善尚, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 宮田昌明, 大石充, 兄弟で異なる病勢進行を示したベッカー型筋ジストロフィーによる二次性心筋症の2症例, 日本超音波医学会 第27回九州地方会, 2017年12月(鹿児島市)
11. 奥井英樹, 高崎州亜, 湯浅敏典, 堀添善尚, 茶園秀人, 大石充, 木佐貫彰, 湯乃上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, WPW 症候群に伴う上室性頻拍の出現を暴く!, 日本超音波医学会 第27回九州地方, 017年12月(鹿児島市)
12. 奥井英樹, 高崎州亜, 湯浅敏典, 堀添善尚, 茶園秀人, 宮田昌明, 大石充, 木佐貫彰, 水上尚子, 大園七瀬, 心タンポナーデにおける電気的交互脈の発生機序, 日本超音波医学会 第27回九州地方, 2017年12月(鹿児島市)
13. 茶園秀人, 湯浅敏典, 堀添善尚, 内山奈美, 水上尚子, 高崎州亜, 宮田昌明, 木佐貫彰, 大石充, 当院における非典型的なこつば型心筋症症例の検討, 日本超音波医学会 第27回九州地方, 2017年12月(鹿児島市)
14. 堀添善尚, 高崎州亜, 茶園秀人, 水上尚子, 湯浅敏典, 宮田昌明, 木佐貫彰, 井本浩, 大石充, ペースメーカースクリーインリードによる右室穿孔の1例, 日本超音波医学会 第27回九州地方会, 2017年12月(鹿児島市)
15. 内山奈美, 堀添善尚, 茶園秀人, 窪田佳代子, 水上尚子, 高崎州亜, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 大石充, 肺高血圧症例における右房圧の推定に吸気時大静脈径および大静脈 collapsibility index は有用である, 日本超音波医学会 第27回九州地方会, 2017年12月(鹿児島市)
16. 大園七瀬, 水上尚子, 湯之上真吾, 小林沙織, 前之園隆一, 高崎州亜, 湯浅敏典, 木佐貫彰, 大石充, CT 画像と fusion させた心エコー検査が有用であった術後大動脈仮性瘤の一例, 日本超音波医学会 第27回九州地方会, 2017年12月(鹿児島市)

(英文)

1. Sachiko Shimizu, Miyabi Uda, Megumi Kishino, Eiko Maetaki, Undergraduate Nursing Students' anxiety before and during taking care of end-of-life patients. Asia Pacific Hospice Conference, 2017年7月(Suntec City, Singapore)

【講演】

1. 堤由美子, メンタルヘルスマネジメント, 鹿児島県新人看護職員研修実地指導者研修会, 2017年1月&2月(鹿児島市)
2. 堤由美子, ストレスマネジメント, 相良病院新人職員研修会, 2017年4月(鹿児島市)
3. 堤由美子, 看護研究の基礎 I—研究の進め方と研究方法, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2017

業績目録

年6月(鹿児島市)

- 堤由美子, 喪失・悲嘆, ELNEC-J in 大隅県民健康プラザ鹿屋医療センター, 2017年6月(鹿屋市)
- 堤由美子, 新人看護師のセルフストレスマネジメント, 鹿児島大学病院看護部新人研修, 2017年6月(鹿児島市)
- 堤由美子, 人間関係力を高める研修, 鹿児島大学病院看護部部署ジェネラリストコース研修, 2017年6月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究の基礎Ⅱ—推測統計の基礎, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2017年6月(鹿児島市)
- 堤由美子, セルフストレスマネジメント, 鹿児島県新人看護職員研修教育担当者研修, 2017年7月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究の基礎Ⅲ—研究計画立案の実際, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2017年7月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究の基礎Ⅳ—倫理的配慮の仕方と研究の発表の仕方, 鹿児島県看護協会スペシャリストの準備教育のための研修会, 2017年7月(鹿児島市)
- 堤由美子, がん患者の心の軌跡に寄り添うケアを求めて, 鹿児島医療センターエキスパートナース研修会, 2017年7月(鹿児島市)
- 堤由美子, 危機的状態の患者・家族の看護, 慈愛会今村病院・分院・谷山病院看護部研修会, 2017年8月(鹿児島市)
- 堤由美子, 人材育成の基礎知識, 日本看護協会鹿児島県支部ファーストレベル研修会, 2017年8月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究における倫理, 鹿児島県看護協会役員会研修会, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子, 心の病いと看護, 社会福祉法人鹿児島いのちの電話公開講座, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子, 喪失・悲嘆, 鹿児島大学病院看護部主催「在宅医療・ターミナルケア人材育成事業 エンド・オブ・ライフ研修会」, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究における倫理, 鹿児島県看護協会倫理審査委員研修会, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子, ALS患者の障害受容と患者家族の精神ケア, 鹿児島大学医学部保健学科公開講座, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子他, 鹿児島がん看護研究会「学生のためのがん看護講座」の企画・実施, 2017年9月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護研究論文のまとめ方, 日本精神科看護協会鹿児島県支部研修会, 2017年11月(鹿児島市)
- 堤由美子, 看護論Ⅲ—対人関係理論, 鹿児島県実習指導者講習会, 2017年11月(鹿児島市)
- 清水佐智子, 平成28年度研修会, 看護がみえる看護記録, 鹿児島県看護協会, 2016年10月(鹿児島市)
- 清水佐智子, 平成28年度研修会, 看護がみえる看護記録, 鹿児島県看護協会, 2016年11月(鹿児島市)
- 清水佐智子, 平成29年度研修会, 看護がみえる看護記録, 福岡県看護協会, 2017年7月(福岡)
- 清水佐智子, ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム, 鹿児島大学病院, 2017年8月(鹿児島市)
- 清水佐智子, 吉田智美, ELNEC-J 指導者フォローアップ研修, 特定非営利活動法人日本緩和医療学会, 2017年9月(東京)
- 清水佐智子, 出前授業, 命を支える看護師の役割一聴くということ一, 鹿児島県立国分高等学校, 2017年8月(霧島市)
- 清水佐智子, 出前授業, 成人看護学 ハンドマッサージ, 宮崎県立都城西高等学校, 2017年10月(宮崎)

〔母性・小児看護学講座〕

〔論文著書〕

- Nerome Y, Kawano Y. Failure to prevent HTLV-1 mother-to-child transmission in Japan, *Pediatr Int*, 59(2): 227-228, 2017
- 根路銘安仁, 河野嘉文, 鹿児島における小児死亡登録検証制度導入の課題(前編), 鹿児島県医師会報789: 49-52, 2017
- 根路銘安仁, 河野嘉文, 鹿児島における小児死亡登録検証制度導入の課題(後編), 鹿児島県医師会報790: 62-66, 2017
- Niwayama Risa, Nishitani Shota, Takamura Tsunehiko, Shinohara Kazuyuki, Honda Sumihisa, Miyamura Tsunetake, Nakao Yuko, Oishi Kazuyo, and Araki-Nagahashi Miyuki: Oxytocin Mediates a Calming Effect on Postpartum Mood in Primiparous Mothers, *Breastfeeding Medicine*, 12(2): 2017
- Mayumi Ohnishi, Sebalda Leshabari, Joel Seme Ambikile, Kazuyo Oishi, Yuko Nakao, Kazuyo Oishi, Mika Nishihara: Associations among anthropometric measures, food consumption, and quality of life in school-age children in Tanzania, *The Japanese Association of Rural Medicine*, 12(1): 38-45, 2017
- 井関敦子, 山田奈央, 吉留厚子他, 助産師学生の分娩介助演習におけるシミュレーション教育の効果と課題, *母性衛生* 57(4): 686-694, 2017
- 吉本明子, 兒玉慎平, 中尾優子, 帝王切開における出産体験のとらえ方尺度の検討, *日本助産学会誌* 31(1): 34-43, 2017

業績目録

8. 手島美聡, 大石和代, 永橋美幸, 中尾優子, 産褥早期における直接授乳前後の乳腺組織の厚さの変化—超音波画像を用いて—, 日本助産学会誌31(1): 71-77, 2017
9. 山本直子, 永橋美幸, 大石和代, 乳幼児を持つ女性の精神的健康と関連する要因—女性の食生活習慣に着目して—, 母性衛生58(1): 142-150, 2017
10. 山本直子, 永橋美幸, 大石和代, 乳幼児を持つ母親の精神的健康と医学的社会的特徴—4か月児を持つ母親と4~6歳児を持つ母親の比較—, 母性衛生58(1): 100-107, 2017
11. 山本直子, 松本彩, 永橋美幸, 江藤宏美, 大石和代, 在日女子留学生の月経前症候群に関連する医学的社会的要因の検討, 母性衛生58(2): 287-295, 2017
12. 鮫島雅子, 井上尚美, 山之内千恵, 清水川玲子, 平田恵美, 下敷領須美子: 鹿児島県内の産科施設における流産・死産へのケアの実態調査(第二報)~流産・死産の助産ケアの現状と今後の課題~, 鹿児島県母性衛生学会誌(21): 1-6, 2017

【学会発表】

1. 根路銘安仁, 大脇哲洋, 網谷真理恵, 指宿りえ, 嶽崎俊郎, 医学部1年生のHPVワクチンに対する講義前後での変化, 第8回日本プライマリケア連合学会, 2017年5月(香川)
2. 根路銘安仁, 河野嘉文, 鹿児島県における子どもの死亡症例全数把握のための体制づくり, 第165回日本小児科学会鹿児島地方会, 2017年6月(鹿児島市)
3. 根路銘安仁, 河野嘉文, 鹿児島県における子どもの死亡症例全数把握のための体制づくり, 第64回日本小児保健協会学術集会, 2017年6月(大阪)
4. Yuko Nakao, Chika matsuda, Miho Egawa, Miyuki Nagahashi: How do mothers of twins in Japan feed their babies and how do they feel about the method they use?, 31 ICM Triennial Congress, 2017年6月(Toront, Canada)
5. Naomi Inoue, Mikiyo Wakamatsu, Kumiko Takada, Shimpei Kodama, Yuko Nakao, Atsuko Yoshidome: Evaluation of a Training Program in Professional Autonomy Intended to Improve the Midwifery Practice Competence of Mid-career Generalist Midwives. The 31st International Confederation of Midwives (ICM) Triennial Congress, 2017年6月(Toronto, Canada)
6. Mikiyo Wakamatsu, Naomi Inoue, Kumiko Takada, Shimpei Kodama, Yuko Nakao, Atsuko Yoshidome: "The Japanese Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice Level III certification: evaluating a training program aimed at improving maternity care competencies in Mid-career Generalist Midwives". The 31st International Confederation of Midwives (ICM) Triennial Congress, 2017年6月(Toronto, Canada)
7. 鮫島雅子, 山之内千恵, 原囀舞, 野添久美, 井上尚美, 森 律子, (公社)鹿児島県助産師会「ペリネイタル・ロス助産ケアチーム」活動報告, 第73回助産師学会, 2017年6月(東京)
8. 根路銘安仁, 社会的に結論がでていないHPVワクチンに対する学習前後の医学部1年生の認識変化, 第30回鹿児島県母性衛生学会, 2017年7月(鹿児島市)
9. 山田茜弥, 鶴田有紗, 富田裕子, 片岡望美, 鯖江玲華, 江田みゆき, 南良子, 中尾優子, 口唇形成術直後の児に付き添う母親の思いと看護師に求める支援, 鹿児島県母性衛生学会, 2017年8月(鹿児島市)
10. 平山智菜, 中尾優子, 文献から見た現代の里帰り分娩についての一考察, 第58回日本母性衛生学会, 2017年10月(兵庫)
11. 東野有紀, 中尾優子, 妊娠中の乳頭ケアの有効性について, 第58回日本母性衛生学会, 2017年10月(兵庫)
12. 相原佳奈子, 中尾優子, 口唇口蓋裂の告知時期からみた母親の受容過程, 第58回日本母性衛生学会, 2017年10月(兵庫)
13. 井上尚美, 吉留厚子, 離島における妊娠期の予防教育の現状と課題 ~A島B町のマタニティクラスの実態とニーズ調査, 第58回日本母性衛生学会学術集会, 2017年10月(兵庫)
14. 梅田幸子, 吉留厚子, 妊婦の妊娠に関する情報収集源の実態, 第58回日本母性衛生学会学術集会, 2017年10月(兵庫)
15. 的場美香, 園田良子, 若松美貴代, 新人助産師合同研修会の3年間の成果と今後の課題, 第58回日本母性衛生学会総会・学術集会, 2017年10月(兵庫)
16. 中條三紀子, 山本直子, 入院している乳幼児に付き添う家族への精神面へのケア, FOURWINDS 乳幼児精神保健学会第20回学術集会, 2017年11月(東京)
17. 釘崎瑛梨, 山本直子, NUCUに入院中の乳児を持つ母親の対自感情と経時的変化, FOURWINDS 乳幼児精神保健学会第20回学術集会, 2017年11月(東京)

業 績 目 録

【その他】

1) 論文・報告

1. 吉留厚子, 大学院で助産を学び直す 鹿児島大学大学院, 助産雑誌71 (8): 619-620, 2017

2) 講演

1. 根路銘安仁, 平成28年度 HTLV-1母子感染対策事業医療従事者研修会, HTLV-1母子感染対策～鹿児島県の経験をもとに～, 2017年1月(北海道)
2. 根路銘安仁, 潜在助産師再就業セミナー, 新生児・乳児のアセスメントとケア, 2017年1月(鹿児島市)
3. 若松美貴代, Predictive validity of the Japanese version of Postpartum Depression Predictors Inventory-Revised (PDPI-R) during pregnancy and the postpartum period 医学部保健学科 看護学専攻 韓国中央大学教育研究交流研究発表, 2017年1月(鹿児島市)
4. 根路銘安仁, 平成28年度鹿児島県 HTLV-1対策講習会, HTLV-1の基礎知識(各感染経路対策)と対策研究から見えてきた問題点, 2017年2月(鹿児島市)
5. 根路銘安仁, 始良保健所虐待予防のための関係者連絡会, 児童福祉法等の改正にかかる虐待防止について～母子保健と児童福祉の連携の必要性～, 2017年2月(霧島市)
6. 井上尚美, 助産倫理, 公益社団法人鹿児島県看護協会新人助産師合同研修会, 2017年2月(鹿児島市)
7. 根路銘安仁, 第101回鹿児島子どもの虐待研究会, 鹿児島県における子どもの死亡登録検証制度導入の試みから見えてきたこと, 2017年3月(鹿児島市)
8. 根路銘安仁, 第7回南さつま市保健勉強会, 児童福祉法等の改正にかかる虐待防止について～母子保健と児童福祉の連携の必要性～, 2017年3月(南さつま市)
9. 若松美貴代, 「周産期の母子のメンタルヘルス支援について」～産後うつ病のスクリーニングとあり方～, 出水保健所, 平成28年度出水保健所地域自殺対策強化事業・母子保健医療推進対策事業, 産後のメンタルヘルス支援者連絡会および研修会, 2017年3月(出水市)
10. 若松美貴代, 「周産期メンタルヘルスケア～妊娠中から切れ目のない支援のために～」, 鹿児島市産婦人科医会研修会, 2017年4月(鹿児島市)
11. 吉留厚子, CLoCMiP(助産実践応力習熟段階 クリニカルラダー)の理解と活用—佐賀県母性衛生学会, 2017年5月(佐賀)
12. 山本直子, 子どものけいれんについて・これから流行る感染症について, 社会福祉法人めぐみ福祉会めぐみ保育園職員研修会, 2017年5月(鹿児島市)
13. 吉留厚子, 看護職に看護研究は必要か? 研究発表の取り組み, 2017年6月(鹿児島市)
14. 根路銘安仁, 平成29年度南さつま市ふるさと宝・子どもの笑顔・命輝け! 講演会, 地域が子ども達を育て, 子ども達が地域を作り出す～発達障害・虐待・貧困への支援から～, 2017年6月(南さつま市)
15. 山本直子, 緊急時の対応について, 社会福祉法人山鳩会4園合同職員研修会, 2017年6月(鹿児島市)
16. 井上尚美, 性の情報・性被害と私たち, 鹿児島市性教育推進事業鹿児島市立犬迫小学校, 2017年6月(鹿児島市)
17. 田中一枝, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育に関する報告, 2017年6月(鹿児島市)
18. 吉留厚子, 助産ケアと倫理—沖縄県看護協会, 2017年7月(沖縄)
19. 吉留厚子, 第2回鹿児島大学グローバルセンターシンポジウム鹿大「進取の精神」支援基金 平成28年度 事業報告と今後の展望, 2017年7月(鹿児島市)
20. 吉留厚子, あなたは接遇ができていますか—公開講座, 2017年7月(鹿児島市)
21. 吉留厚子, 看護研究の基礎及び統計解析入門—公開講座, 2017年7月(鹿児島市)
22. 中尾優子, やる気スイッチ!, 中堅助産師のためのステップアップ研修, 2017年7月(鹿児島市)
23. 根路銘安仁, 鹿児島大学医学部小児科学教室同門会, 鹿児島県における子どもの死亡登録検証制度導入の試みから見えてきたこと, 2017年7月(鹿児島市)
24. 井上尚美, 実習指導の実際Ⅱ(母性看護), 公益社団法人鹿児島県看護協会平成29年度特定分野における実習指導者講習会, 2017年7月(鹿児島市)
25. 若松美貴代, 「産後ケアを見据えた今後の周産期メンタルヘルスケアの提案」, 鹿児島大学 産婦人科病棟, 2017年7月(鹿児島市)
26. 田中一枝, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育に関する報告, 2017年7月(鹿児島市)
27. 田中一枝, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育に関する報告, 2017年7月(鹿児島市)

業 績 目 録

28. 中尾優子, 看護研究における統計処理, 聖フランシスコ病院, 2017年8月(長崎)
29. 根路銘安仁, 助産師講習会, HTLV-1母子感染対策 基礎と実際, 2017年8月(鹿児島市)
30. 根路銘安仁, NPO 法人 親子ネットワーク「がじゅまるの家」従事者講演会, 子どもの事故や病気, 2017年8月(徳之島町)
31. 根路銘安仁, NPO 法人 親子ネットワーク「がじゅまるの家」広場利用者への講演会, 「あの子は発達障害なのかしら?」と思った時に, 2017年8月(徳之島町)
32. 田中一枝, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育についての報告, 2017年8月(鹿児島市)
33. 田中一枝, ニュージーランドにおける助産師の自立と助産師教育についての報告, 2017年8月(薩摩川内市)
34. 中尾優子, 乳離れ, 鹿児島大学助産師同窓会研修会, 2017年9月(鹿児島市)
35. 若松美貴代, 「周産期メンタルヘルスの考え方と実践」, 鹿児島大学公開講座: 助産師の専門性的実践のために必要な知識・スキル, 2017年9月(鹿児島市)
36. 吉留厚子, リーダーシップ-鹿児島大学病院, 2017年10月(鹿児島市)
37. 若松美貴代, 「周産期のメンタルヘルスと支援の方法」平成29年度 始良・伊佐地域母子保健推進研修会, 2017年10月(霧島市)
38. 根路銘安仁, 枕崎市医師会学術講演会, 「発達障害かな?」, 「虐待かな?」と思ったら, 2017年11月(枕崎市)
39. 山本直子, お母さんの心の健康, 母乳栄養や離乳食等の悩み, スマホ等電子メディアと子育てについて, 平成29年度子育てサポーター養成講座, 2017年11月(指宿市)
40. 井上尚美, 離島・へき地における周産期医療を支える, 第76回日本公衆衛生学会シンポジウム, 2017年11月(鹿児島市)
41. 井上尚美, 「いのちの誕生」いのちについて考える, 鹿児島市立皇徳寺中学校性に関する指導, 2017年11月(鹿児島市)
42. 井上尚美, いのちを育む性~大人への準備~, 鹿児島市立南中学校性に関する講話, 2017年11月(鹿児島市)
43. 井上尚美, 大人への道の途中~今, ここに自分がいるということ~, 鹿児島市性教育推進事業鹿児島市玉龍中学校, 2017年11月(鹿児島市)
44. 井上尚美, 母性看護学・助産学, 出前授業, 鹿児島県立錦江湾高等学校, 2017年11月(鹿児島市)
45. 若松美貴代, 「産後うつ病イコール虐待と思ってませんか」今, 私たちに必要な視点とは, 鹿児島子どもの虐待問題研究会セミナー, 2017年11月(鹿児島市)
46. 吉留厚子, 助産教育一臨床指導者講習会 鹿児島県看護協会, 2017年12月(鹿児島市)
47. 井上尚美, いのちの誕生~いのちについて考える~, 鹿児島市立南中学校性に関する講話, 2017年12月(鹿児島市)
48. 井上尚美, いのちの誕生, 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育講演会, 2017年12月(鹿児島市)
49. 井上尚美, いのちを育む準備が始まった, 今, たいせつにしたいこと, 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育講演会, 2017年12月(鹿児島市)
50. 井上尚美, 生と性について考えよう! ~素敵な大人になるために~, 鹿児島大学教育学部附属中学校性教育講演会, 2017年12月(鹿児島市)
51. 若松美貴代, 「母体・胎児の健康診査」, 公益社団法人鹿児島県看護協会平成29年度新人助産師研修会, 2017年12月(鹿児島市)

〔地域看護・看護情報学講座〕

【論文著書】

1. 丸谷美紀, 米増直美, 兒玉慎平, 森隆子, 稲留直子, ポストン学生海外研修報告—健康格差解消に向けたローカル・グローバルな視座からの学び, 鹿児島大学保健学科紀要, 27(1): 63-69, 2017
2. 米増直美, 丸谷美紀, 兒玉慎平, 森隆子, 稲留直子, 公衆衛生看護管理論 I フィリピン研修報告書, 鹿児島大学保健学科紀要, 27(1): 55-61, 2017
3. 吉本明子, 兒玉慎平, 中尾優子, 帝王切開における出産体験のとらえ方尺度の検討, 日本助産学会誌, 31(1): 34-43, 2017
4. 森隆子, 兒玉慎平, 波多野浩道, 島嶼地域住民の主観的健康感とその関連要因: 集落レベルのソーシャル・キャピタルに注目して, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 27(1): 19-27, 2017
5. Ryuko Mori, Design of nursing practice model to develop "healthy regions" in remote islands and rural areas: Learning from the Federated States of Micronesia. Bulletin of the School of Health Sciences, Faculty of Medicine, Kagoshima University, 27(1): 39-45, 2017
6. Naoko Inadome, Ryuko Mori, Shimpei Kodama, Hiromichi Hatano, Subjective life satisfaction and its determinants in residents in remote islands—from a perspective of settlement-level Social Capital—. AINO JOURNAL, 15: 79-87, 2016.

業 績 目 録

【学会発表】

1. 丸谷美紀, 稲留直子, 米増直美, 森隆子, 市町村保健師による離島の文化に即した自然災害時保健活動—直接支援に着眼して, 日本地域看護学会第19回学術集会, 平成29年8月(大分)
2. 雨宮有子, 石橋みゆき, 角川由香, 吉田千文, 神谷明美, 諏訪部高江, 丸谷美紀, 超高齢構想区域にある地域中核病院での地域ケアシステム構築に繋がる退院支援看護技術, 日本地域看護学会第19回学術集会, 平成29年8月(大分)
3. 樋口キエ子, 石橋みゆき, 雨宮有子, 角川由香, 神谷明美, 諏訪部高江, 丸谷美紀, 吉田千文, 在宅移行時に患者本人と家族の希望にズレが生じている事例への退院支援看護実践に含まれる技術, 家族看護学会第24回学術集会, 平成29年9月(千葉)
4. 石橋みゆき, 雨宮有子, 角川由香, 神谷明美, 諏訪部高江, 丸谷美紀, 吉田千文, 自組織の看護師の退院支援スキル向上にむけた人材養成に関わる意図と行為, 千葉看護学会第23回学術集会, 平成29年9月(千葉)
5. 木暮みどり, 石橋みゆき, 大藤沙紀, 雨宮有子, 伊藤隆子, 樋口キエ子, 林弥生, 角川由香, 諏訪部高江, 神谷明美, 平野和恵, 丸谷美紀, 看護をつなぐための人材育成—退院支援部門院内留学研修制度—, 千葉看護学会第23回学術集会, 平成29年9月(千葉)
6. 山口美幸, 新原由佳里, 柳川竜一, 白橋有人, 宮田径代, 兒玉慎平, RRSの円滑な運営を妨げる要因の検討—看護師へのアンケートを通して—, 第19回日本救急看護学会学術集会, 平成29年10月(石川)
7. Naomi Inoue, Mikiyo Wakamatsu, Kumiko Takada, Shimpei Kodama, Yuko Nakao, Atsuko Yoshidome, Evaluation of a Training Program in Professional Autonomy Intended to Improve the Midwifery Practice Competence of Mid-career Generalist Midwives, 2017年6月(TORONTO, CANADA)

【その他】

1) 報告書

1. 丸谷美紀, 米増直美, 兒玉慎平, 森隆子, 稲留直子, 口永良部島新岳噴火の被災者支援における保健師の役割—復旧・復興期に焦点を当てて—, 鹿児島大学地域防災教育センター平成28年度報告書, 19-26, 2017

2) 講演・その他

1. 丸谷美紀, 鹿児島大学地域防災教育センター第15回公開セミナー講師, 平成29年3月(鹿児島市)
2. Miki Marutani, タイ国コンケン精神病院第2回国際学会で招聘講演, 平成29年7月(タイ)
3. 米増直美, 鹿屋市保健師等人材育成研修会 講師(通年4回), 2017年(鹿屋市)
4. 米増直美, 平成29年度鹿児島県新任保健師研修会 講師・助言者, 2017年7月(鹿児島市)
5. 米増直美, 鹿児島市新任保健師研修会 集団研修講師(通年4回), 個別研修育成トレーナー(通年7回) 2017年
6. 米増直美, 平成29年度北薩地域新任保健師研修会 講師, 2017年8月(薩摩川内市)
7. 米増直美, 平成29年度種子島地区新任保健師研修会 助言者, 2017年12月(西之表市)
8. 米増直美, 文部科学省事業「地域包括ケアを担う医療・保健・福祉の多職種連携教育 コーディネーター養成プログラム開発事業」シンポジウム「先進地の取り組みから学ぶこと」事例報告, 2017年1月(宮崎県)
9. 兒玉慎平, 国立病院機構指宿医療センター看護部研修「看護研究」(通年4回), 2017年(指宿市)
10. 兒玉慎平, 第50回鹿児島県保健看護研究会教育講演「質の高い看護研究をめざして—研究計画と概念枠組み—」, 2017年1月(鹿児島市)
11. 兒玉慎平, 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習「情報テクノロジー(情報検索)」, 2017年8月(鹿児島市)
12. 兒玉慎平, 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習「レポートの書き方」, 2017年8月(鹿児島市)
13. 兒玉慎平, 人口規模別の市町村保健師の役割—市区町村別データの2次分析から—, 鹿児島大学保健・医療研究会 第11回合同研究発表会, 2017年9月(鹿児島市)
14. 兒玉慎平, 日本ルーラルナーシング学会第12回学術集会事務局, 2017年11月(宇検村)
15. 森隆子, 平成29年度鹿児島県訪問看護ステーション協議会研究アドバイザー, 2017年(鹿児島市)
16. 森隆子, 日本島嶼学会2017年次甌島大会事務局, 2017年9月(薩摩川内市)
17. 森隆子, 日本ルーラルナーシング学会第12回学術集会事務局, 2017年11月(宇検村)
18. 稲留直子, さつま町乳幼児健診支援(通年6回), 2017(さつま町)
19. 稲留直子, 鹿児島市新任保健師個別研修トレーナー(通年6〔理学療法専攻])

業績目録

20. 稻留直子, 日本ルーラルナーシング学会第12回学術集会事務局, 2017年11月 (宇検村)

〔理学療法学専攻〕

【論著書】

(著書)

1. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 7. 後縦靭帯骨化症 図解 整形外科 改訂3 版 (久保俊一他 編著 金芳堂) p192-193, 2017
2. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 8. 強直性脊椎炎 図解 整形外科 改訂3 版 (久保俊一他 編著 金芳堂) p194-195, 2017
3. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 9. 脊椎腫瘍 図解 整形外科 改訂3 版 (久保俊一他 編著 金芳堂) p196-197, 2017
4. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 10. 脊髄腫瘍 図解 整形外科 改訂3 版 (久保俊一他 編著 金芳堂) p198-199, 2017
5. 米和徳, 9 脊椎・脊髄疾患 11. 脊椎・脊髄損傷 図解 整形外科 改訂3 版 (久保俊一他 編著 金芳堂) p200-204, 2017
6. 米和徳, 運動器の廃用と筋変化・萎縮 特集: 運動器の10年—ロコモティブシンドロームと運動器疼痛—クリニシャン661号 (エーザイ株式会社) p40-46, 2017
7. 牧迫飛雄馬, 3 章高齢者の評価 認知機能の評価, 高齢者理学療法学 (島田裕之 総編, 牧迫飛雄馬・山田実 編 医歯薬出版, 東京) p.139-148, 2017
8. 牧迫飛雄馬, 6 章老年症候群における理学療法 うつに対する理学療法, 高齢者理学療法学 (島田裕之 総編, 牧迫飛雄馬・山田実 編 医歯薬出版, 東京) p.432-437, 2017

(和文論文)

1. 山元拓哉, 永吉隆作, 米和徳他, 神経線維腫症型による Dystrophic spinal deformity の臨床成績—術後一年以上経過例の検討—, *Journal of Spine Research* 8(3): 634, 2017
2. 藤村成剛, 臼杵扶佐子, 永野匡昭, 中村篤, 沖田実, 中野治郎, 樋口逸郎, メチル水銀中毒の予防及び治療に関する基礎研究, *国立水俣病総合研究センター年報*37: 10-13, 2017
3. 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 鈴木隆雄, 地域在住日本人高齢者に適した Short Physical Performance Battery の算出方法の修正, *理学療法学* 44(3): 197-206, 2017
4. 牧迫飛雄馬, 認知症予防・転倒予防のための具体的な運動指導方法, *臨床スポーツ医学* 34(1): 70-75, 2017
5. 牧迫飛雄馬, 老化とフレイル—早期発見と効果的介入をデータから考える—, *理学療法のおゆみ* 28(1): 3-10, 2017
6. 牧迫飛雄馬, 認知症予防における理学療法, *理学療法学* 44(Sup1): 42-46, 2017
7. 牧迫飛雄馬, 社会的フレイル, *The Bone* 31(3): 35-39, 2017
8. 松田史代, ベルー国立障がい者リハビリテーションセンターでの活動報告, *鹿児島大学医学部保健学科紀要*, 27: 71-77, 2017

(英文論文)

1. Ueda Y, Suwazono S, Maedo S, Higuchi I, Profile of cognitive function in adults with Duchenne muscular dystrophy. *Brain Dev*, 39(3): 225-230, 2017
2. Hamano T, Matsunaga A, Yamamura O, Nakamura M, Kawamura Y, Higuchi I, Kuriyama M, Nakamoto Y, Influenza A (H3N2)-induced rhabdomyolysis complicating anterior compartment syndrome: Serial changes in muscle MRI T2 fat suppression imaging. *eNeurologicalSci* 7: 15-17, 2017
3. Takeshi Y, Mai Y, Kinjo M, Manabu J, Higuchi I, Dropped Head Syndrome and the Presence of Rimmed Vacuoles in a Muscle Biopsy in Scleroderma-Polymyositis Overlap Syndrome Associated with Anti-Ku Antibody. *Intern Med*, 2017 Nov 20, doi: 10.2169/internalmedicine.9363-17 [Epub ahead of print] PubMed PMID: 29151520
4. Haseba S, Sakakima H, Nakao S, Ohira M, Yanagi S, Imoto Y, Yoshida A, Shimodozono M, Early postoperative physical therapy for improving short-term gross motor outcome in infants with cyanotic and acyanotic congenital heart disease. *Disabil Rehabil*, 1-8, 2017
5. Tanaka K, Sakakima H, Hida K, Hatanaka K, Ijiri K, A Case of C5 Vertebral Chordoma in a 73-Year-Old Patient with More Than 8 Years of Follow-Up after Total Piecemeal Spondylectomy. *Case Rep Orthop Article ID 3284131*, 2017

業績目録

6. Yoshifumi K, Ryoji K, Masaki S, Toshiyo T, Toshiro F, Tetsuo M, Tadasu O, Estimation of Gait Independence Using a Tri-Axial Accelerometer in Stroke Patients. *Journal of Aging and Physical Activity-Human Kinetics*, Volume: 0 Issue: 0 Pages:1-7 doi:10.1123/japa.2016-0264
7. Makizako H, Shimada H, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Hotta R, Suzuki T. Predictive cutoff values of the Five-Times-Sit-to-Stand and Timed Up and Go Tests for disability incidence among community-dwelling older people. *Phys Ther*, 97(4): 417–424, 2017
8. Makizako H, Shimada H, Doi T, Tsutsumimoto K, Lee S, Lee S, Harada K, Hotta R, Nakakubo S, Bae S, Harada K, Yoshida D, Uemura K, Anan Y, Park H, Suzuki T, Age-dependent changes in physical performance and body composition in community-dwelling Japanese older adults. *J Cachexia Sarcopenia Muscle*, 8(4): 607–614, 2017
9. Makizako H, Shimada H, Doi T, Tsutsumimoto K, Yoshida D, Suzuki T, Effects of a community disability prevention program for frail older adults at 48-month follow up. *Geriatr Gerontol Int*, 17(12): 2347–2353, 2017
10. Tsutsumimoto K, Makizako H, Doi T, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Shimada H, Suzuki T, Subjective memory complaints are associated with incident dementia in cognitively intact older people, but not in those with cognitive impairment:A 24-month prospective cohort study. *Am J Geriatr Psychiatry*, 25(6): 607–616, 2017
11. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, The Association Between Anorexia of Aging and Physical Frailty: Results from the National Center for Geriatrics and Gerontology-Study of Geriatric Syndromes. *Maturitas*, 97: 32–37, 2017
12. Tsutsumimoto K, Makizako H, Doi T, Hotta R, Nakakubo S, Shimada H, Suzuki T, Prospective associations between sedentary behaviour and incident depressive symptoms in older people: a 15-month longitudinal cohort study. *Int J Geriatr Psychiatry*, 32(2): 193–200, 2017
13. Bae S, Shimada H, Park H, Lee S, Makizako H, Doi T, Yoshida D, Tsutsumimoto K, Anan Y, Suzuki T, Association between body composition parameters and risk of mild cognitive impairment in older Japanese adults. *Geriatr Gerontol Int*, 17(11): 2053–2059, 2017
14. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H. Association of Social Frailty with Both Cognitive and Physical Deficits among Older People. *J Am Med Dir Assoc*, 18(7): 603–607, 2017
15. Makino K, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Suzuki T, Shimada H. Fear of falling and gait parameters in older adults with and without fall history. *Geriatr Gerontol Int*, 17(12): 2455–2459, 2017
16. Doi T, Shimada H, Makizako H, Tsutsumimoto K, Verghese J, Suzuki T, Motoric Cognitive Risk Syndrome: Association with Incident Dementia and Disability. *J Alzheimers Dis*, 59(1): 77–84, 2017.
17. Doi T, Verghese J, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Suzuki T, Shimada H, Effects of Cognitive Leisure Activity on Cognition in Mild Cognitive Impairment: Results of a Randomized Controlled Trial. *J Am Med Dir Assoc*, 18(8): 686–691, 2017
18. Nakakubo S, Makizako H, Doi T, Tsutsumimoto K, Lee S, Lee S, Hotta R, Bae S, Suzuki T, Shimada H, Impact of poor sleep quality and physical inactivity on cognitive function in community-dwelling older adults. *Geriatr Gerontol Int*, 17(11): 1823–1828, 2017
19. Shimada H, Makizako H, Doi T, Lee S, Lee S. Conversion and reversion rates in Japanese older people with mild cognitive impairment. *J Am Med Dir Assoc*, 18(9): 808.e1–808.e6, 2017
20. Shimada H, Ishii K, Makizako H, Ishiwata K, Oda K, Suzukawa M, Effects of exercise on brain activity during walking in older adults: a randomized controlled trial. *J Neuroeng Rehabil*, 14(1): 50, 2017
21. Miyara K, Matsumoto S, Uema T, Noma T, Ikeda K, Ohwatashi A, Kiyama R, Shimodozono M, Effect of whole body vibration on spasticity in hemiplegic legs of patients with stroke. *Top Stroke Rehabil*, 2017 Oct 16:1-6. doi: 10.1080/10749357.2017
22. Kikuchi K, Setoyama K, Kawahara KI, Nagasato T, Terashi T, Ueda K, Nakanishi K, Otsuka S, Miura N, Sameshima H, Hosokawa K, Harada Y, Shrestha B, Yamamoto M, Morimoto-Yamashita Y, Kikuchi H, Kiyama R, Kamikokuryo C, Tancharoen S, Sakakima H, Morioka M, Tanaka E, Ito T, Maruyama I, Edaravone, a Synthetic Free Radical Scavenger, Enhances Alteplase-Mediated Thrombolysis. *Oxid Med Cell Longev*. 2017:6873281. doi: 10.1155/2017/6873281, 2017

【学会発表】

(和文)

1. 山元拓哉, 永吉隆作, 精松昌彦, 富永博之, 河村一郎, 米和徳, 小宮節郎, 神経線維腫症型による Dystrophic spinal deformity の臨床成績—術後年以上経過例の検討—, 第46回日本脊椎脊髄病学会, 2017年4月(札幌)
2. 富永博之, 精松昌彦, 米和徳他, 頸椎椎弓根スクリュー挿入における3Dモデルの有用性, 第88回西日本脊椎研究会, 2017年12月(福岡)

業 績 目 録

3. 中村裕樹, 佐田直哉, 早田善幸, 石田俊, 末永亮太, 松元朗, 前島武蔵, 樋口逸郎, 窪田正大, 高齢者骨折患者の筋量に関する研究, 第19回日本骨粗鬆症学会, 2017年10月(大阪)
4. 樋口逸郎, 湯地美佳, 橋口昭大, 平松有, 岡本裕嗣, 高嶋博, アルギニンを用いた封入体筋炎の治療戦略の検討, 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))希少難治性筋疾患に関する調査研究班 IBM 分科会, 2017年2月(仙台)
5. 角園恵, 大塚章太郎, 高田聖也, 寺師拓斗, 中西和毅, 上田晃希, 榊間春利, 神経因性疼痛モデルラットを用いたトレッドミル運動による疼痛緩和メカニズム, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
6. 夏目恵介, 秋廣慎太郎, 榊間春利, 吉田輝, 膠芽腫患者に対する入院リハビリテーションによる機能的帰結, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
7. 角園恵, 大塚章太郎, 高田聖也, 寺師拓斗, 中西和毅, 上田晃希, 榊間春利, 神経因性疼痛に対する運動療法の疼痛緩和効果とそのメカニズムについて, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
8. 高田聖也, 中西和毅, 寺師拓斗, 上田晃輝, 大塚章太郎, 角園恵, 吉田義弘, 榊間春利, 外傷性脊髄損傷後における神経栄養因子ミッドカインの働き, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
9. 寺師拓斗, 大塚章太郎, 中西和毅, 上田晃希, 高田聖也, 角園恵, 榊間春利, 運動頻度の異なる定期的な運動習慣がラット脳梗塞後の脳神経保護に及ぼす影響, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
10. 大塚章太郎, 寺師拓斗, 上田晃希, 中西和毅, 高田聖也, 角園恵, 榊間春利, 定期的なトレッドミル運動によるラット脳梗塞後の神経保護効果とその作用機序について, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
11. 上田晃希, 角園恵, 大塚章太郎, 高田聖也, 寺師拓斗, 中西和毅, 宮崎雅司, 井尻幸成, 榊間春利, L4/5腰椎変性すべり症患者のすべりの程度と椎間関節水腫に関する研究, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
12. 中西和毅, 寺師拓斗, 大塚章太郎, 高田聖也, 角園恵, 上田晃希, 榊間春利, 規則的な運動が老化促進マウスの活動量や骨格筋に及ぼす影響, 第16回コメディカル機能形態学会, 2017年10月(愛知)
13. 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 土井剛彦, 堤本広大, 李相命, 李成喆, 堀田亮, 中窪翔, 裴成琿, 鈴木隆雄, 地域在住高齢者における身体機能と身体組成の評価指標による加齢変化の違い, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
14. 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 牧野圭太郎, 認知的フレイルが認知症発症に及ぼす影響, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
15. 上村一貴, 牧迫飛雄馬, 李相命, 土井剛彦, 李成喆, 堤本広大, 島田裕之, 老年期の抑うつ状態を予防する活動は何か?—身体/認知/社会の3側面からの検討—, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
16. 橋立博幸, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 地域在住高齢者における通常歩行速度の最小可検変化量と年齢による差異, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
17. 牧野圭太郎, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 鈴木隆雄, 島田裕之, 地域高齢者の慢性疼痛の強さ別にみた身体活動特性の違い, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
18. 中窪翔, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 牧野圭太郎, 鈴木隆雄, 島田裕之, 地域在住高齢者における歩行比からみた歩行パターンと転倒の関連性, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
19. 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堤本広大, 中窪翔, 牧野圭太郎, 堀田亮, 鈴木隆雄, 島田裕之, 軽度認知機能障害と歩行速度低下により認知症の発症リスクは増加するか?, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
20. 堤本広大, 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 島田裕之, 身体的フレイル高齢者の認知機能低下は, 転倒後の骨折発生と強い関連を有する, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
21. 今岡真和, 李相命, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 牧野圭太郎, 裴成琿, 鄭松伊, 島田裕之, 軽度認知機能低下がサルコペニア有病者の新規要介護発生リスクへ与える影響:24ヵ月間の前向き研究, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
22. 吉松竜貴, 橋本祥行, 照屋康治, 八塩ゆり子, 加辺憲人, 澤龍一, 牧迫飛雄馬, 入院時に起居動作が自立していない回復期脳卒中患者の退院時歩行自立を予測する要因について, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
23. 井平光, 牧野圭太郎, 木原由里子, 志水宏太郎, 山口亨, 伊藤一成, 田井啓太, 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 古名丈人, 地域在住高齢者のがん罹害に関する自己報告の妥当性検証, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
24. 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 李相命, 李成喆, 鈴木隆雄, 身体的フレイルが将来の介護給付額に及ぼす影響, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
25. 牧迫飛雄馬, 島田裕之, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 裴成琿, 鄭松伊, 今岡真和, 身体的フレイル高

業績目録

- 齢者における身体活動量と要介護の新規発生, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
26. 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 李相侖, 土井剛彦, 李成喆, 堤本広大, 裴成琄, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, MCI から正常の認知機能に回復する高齢者の割合, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 27. 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 李相侖, 土井剛彦, 李成喆, 堤本広大, 裴成琄, 堀田亮, 鄭松伊, 中窪翔, 認知機能検査 NCGG-FAT の予測妥当性, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 28. 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 裴成琄, 鄭松伊, 今岡真和, 鈴木隆雄, 島田裕之, 身体的活動と社会的活動に着目した生活範囲の評価方法, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 29. 牧野圭太郎, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 鄭松伊, 今岡真和, 島田裕之, 地域在住高齢者の転倒恐怖感が新規要介護発生に及ぼす影響: 転倒経験による比較, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 30. 牧野圭太郎, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 李相侖, 李成喆, 裴成琄, 島田裕之, 慢性疼痛を有する高齢者における身体活動量と要介護発生, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 31. 中窪翔, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 牧野圭太郎, 鄭松伊, 今岡真和, 島田裕之, 地域在住高齢者における睡眠の重要性—MCI への移行との関連—, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 32. 中窪翔, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 李相侖, 李成喆, 裴成琄, 牧野圭太郎, 島田裕之, 地域在住高齢者における就寝, 起床時刻と身体活動量の関連性, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 33. 堀田亮, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 牧野圭太郎, MCI 高齢者における自動車運転技能と関連する要因の検討, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 34. 堤本広大, 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 裴成琄, 今岡真和, 島田裕之, 高齢者の新規要介護認定における骨格筋力指標と体脂肪率の影響, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 35. 土井剛彦, 島田裕之, 牧迫飛雄馬, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 李相侖, 李成喆, 鈴木隆雄, 新規フレイル発症のリスク—4年間の断調査より—, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 36. 堤本広大, 土井剛彦, 牧迫飛雄馬, 堀田亮, 中窪翔, 牧野圭太郎, 李相侖, 李成喆, 島田裕之, 高齢期における食欲低下は, 新規要支援・要介護認定に影響を与える, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 37. 今岡真和, 李相侖, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 裴成琄, 鄭松伊, 堤本広大, 堀田亮, 島田裕之, 低アルブミン値がサルコペニア有病者の新規要介護発生リスクへ与える影響, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 38. 裴成琄, 李相侖, 牧迫飛雄馬, 李成喆, 土井剛彦, 堤本広大, 堀田亮, 中窪翔, 朴旼泰, 島田裕之, 地域在住高齢者におけるメタボリックシンドロームと軽度認知障害のサブタイプとの関係, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 39. 鄭松伊, 李相侖, 李成喆, 裴成琄, 今岡真和, 原田和弘, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 島田裕之, 地域在住高齢者における身体活動量と抑うつ傾向との関連, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 40. 李成喆, 李相侖, 裴成琄, 牧迫飛雄馬, 中窪翔, 堤本広大, 原田健次, 鄭松伊, 今岡真和, 島田裕之, 地域在住の非糖尿病高齢者を対象とした慢性腎臓病とフレイルとの関連, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 41. 今岡真和, 李相侖, 李成喆, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 裴成琄, 鄭松伊, 中窪翔, 牧野圭太郎, 島田裕之, IADL とサルコペニアの関連について, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 42. 裴成琄, 李相侖, 李成喆, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 鄭松伊, 今岡真和, 牧野圭太郎, 鈴木隆雄, 島田裕之, 高齢者における聴力低下と社会的活動が新規要介護発生に及ぼす影響—大規模コホートによる前向き調査—, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 43. 李相侖, 李成喆, 裴成琄, 原田健次, 鄭松伊, 今岡真和, 牧迫飛雄馬, 土井剛彦, 堤本広大, 島田裕之, 大規模コホート研究による社会活動の非参加が新規要介護・要介護発生のリスクに及ぼす影響, 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
 44. 加辺憲人, 板橋健太, 吉松竜貴, 澤龍一, 西田裕介, 牧迫飛雄馬, 訪問リハビリテーション利用者における屋外活動範囲の促進・阻害因子に関する研究, 第36回関東甲信越ブロック理学療法士学会, 2017年9月(長野)
 45. 川田将之, 木山良二, 大渡昭彦, 前田哲男, 筋骨格シミュレーションによる歩行中の股関節安定化機構に寄与する筋の検討, 第52回日本理学療法学術大会, 2017年5月(千葉)
 46. 宮良広大, 松元秀次, 板敷裕喜, 木山良二, 上間智博, 池田恵子, 野間知一, 下堂蘭恵, 脳卒中片麻痺下肢への全身振動刺激(Whole Body Vibration)による痙縮抑制効果: サブグループ解析による検討, 第52回日本理学療法学術大会, 2017年5月(東京)
 47. 宮崎宣丞, 木山良二, 川田将之, 米和徳, 歩行時の足部・足関節アライメント評価に関する研究—タブレット端末を用いた2次元動作分析の基準関連妥当性の検討—, 第52回日本理学療法学術大会, 2017年5月(千葉)

業績目録

48. 福永みなみ, 木山良二, 川田将之, 米和徳, バドミントンにおけるランジ動作の分析—ランジ方向と打ち分け方向による運動力学的差異—, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
49. 坂本将大, 高田晴紀, 立山信吾, 井手浩二, 川田将之, 当施設における自宅退所に関連する因子の分析, 第28回全国介護老人保健施設大会, 2017年7月(愛媛)

(英文)

1. Hiroyuki Tominaga¹, Masahiko Abematsu, Kazunori Yone, et al., Effect of preoperative 3D model simulation on prevention of pedicle screw malposition in the cervical spine. 33rd Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society Europe Section, 2017年5月(Saltsburg, Austria)
2. Kazutaka Hata, Ryoji Kiyama, Kazunori Yone, et al., Estimation of joint reaction force in the lower extremity using musculoskeletal modeling: Bilateral hip replacement arthroplasty. WCPT-AWP & PTAT Congress 2017, 2017年6月(Bangkok, Thailand)
3. Suzuki N, Mori-Yoshimura M, Yamashita S, Nakano S, Murata KY, Inamori Y, Matsui N, Kimura E, Kusaka H, Kondo T, Higuchi I, Kaji R, Tateyama M, Izumi R, Ono H, Kato M, Warita HO, Takahashi T, Nishino I, Aoki M, Multicenter questionnaire survey for sporadic inclusion body myositis in japan. World Congress of Neurology, 2017年9月(京都)
4. Takada S, Otsuka S, Terashi T, Nakanishi K, Ueda K, Sumizono M, Kikuchi K, Yoshida Y, Sakakima H, Study on the role of neurotrophic factor midline after central nerve injury. 神経科学学会, 2017年7月(千葉)
5. Yoshifumi K, Ryoji K, Masaki S, Toshiyo T, Toshiro F, Tetsuo M, Tadasu O, Estimation of Gait Independence Using a Tri-Axial Accelerometer in Stroke Patients. Journal of Aging and Physical Activity-Human Kinetics, Volume:0 Issue:0
6. Makizako H, Shimada H, Doi T, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Sangyoon L, Social frailty leads to development of physical frailty among physically non-frail adults: A 4-year follow-up longitudinal cohort study. 3rd Asian Conference for Frailty and Sarcopenia, 2017年10月(Seoul, Korea)
7. Doi T, Verghese J, Makizako H, Tsutsumimoto K, Hotta R, Nakakubo S, Suzuki T, Shimada H, Effects of Cognitive Leisure Activity Programs on Cognition in MCI: A Randomized Controlled Trial. The 21st IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics, 2017年7月(San Francisco, USA)
8. Tsutsumimoto K, Doi T, Makizako H, Hotta R, Nakakubo S, Makino K, Suzuki T, Shimada H, Social Frailty has Negative Impact on Cognitive Function Among Older People. The 21st IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics, 2017年7月(San Francisco, USA)

【その他】

1) 講演

1. 米和徳, 運動器のリハビリテーションとは. 平成28年度鹿児島県整形外科医会運動器リハビリテーションセラピスト資格継続研修会, 2017年1月(鹿児島市)
2. 米和徳, 運動器慢性疼痛の治療. 垂水地区医療セミナー講演会, 2017年4月(垂水市)
3. 米和徳, 高齢者の運動器障害. 平成29年度鹿児島大学医学部保健学科臨床理学療法学会講座公開講座, 2017年8月(鹿児島市)
4. 樋口逸郎, サルコペニアについて. 鹿児島県理学療法士協会学術部研修会, 2017年5月(鹿児島市)
5. 樋口逸郎, 高齢者の介護 内科系障害に対する運動療法. 平成29年度鹿児島大学医学部保健学科臨床理学療法学会講座公開講座, 2017年8月(鹿児島市)
6. 大重匡, 高齢者の介護方法. 平成29年度鹿児島大学医学部保健学科臨床理学療法学会講座公開講座, 2017年8月(鹿児島市)
7. 大重匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本. 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 2017年9月(鹿児島市)
8. 大重匡, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本. 日本理学療法士協会理学療法士講習会, 2017年12月(福岡)
9. Makizako H. Physical, cognitive, and social activities for frailty prevention. 3rd Asian Conference for Frailty and Sarcopenia, October 2017 (Korea)
10. 牧迫飛雄馬, フレイルでも健康といえるのか. 第59回日本老年医学会学術集会, 2017年6月(愛知)
11. 牧迫飛雄馬, 地域における高齢者保健のあり方. 第76回日本公衆衛生学会総会自由集会, 2017年11月(鹿児島市)
12. 牧迫飛雄馬, 認知機能低下予防プログラム作成のポイント・認知機能低下を予防する運動プログラムの実践. スキルアップ研修・認知機能低下予防コース. 公益社団法人健康・体力づくり事業財団, 2017年12月(東京)
13. 牧迫飛雄馬, 老年期理学療法. 人間総合科学大学特別講演, 2017年12月(埼玉)
14. 牧迫飛雄馬, 地域を支える理学療法士を目指して. 平成29年度畿央大学同窓会特別講演会, 2017年11月(奈良)

業 績 目 録

15. 牧迫飛雄馬, 認知症予防における運動介入の基本的な考え方～身体活動による認知症予防のメカニズムの理解と実際的な介入～. 株式会社 gene 主催研修会, 2017年11月 (東京)
16. 牧迫飛雄馬, 運動による認知症予防～コグニサイズのスズメ～. かわもと相良消化器内科研修会, 2017年11月 (鹿児島市)
17. 牧迫飛雄馬, フレイルについて学ぶ～多角的視点からみたフレイル～. 亀田メディカルセンター リハビリテーション事業部研修会, 2017年11月 (千葉)
18. 牧迫飛雄馬, 効果的な脳の鍛え方. 平成29年度我孫子市認知症予防講演会, 2017年11月 (千葉)
19. 牧迫飛雄馬, 介護予防における運動指導の実践について学ぶ. 山口県介護予防 PT・OT・ST 指導者養成研修会, 2017年10月 (山口)
20. 牧迫飛雄馬, 認知症予防の運動, 実践について. 長野県理学療法士会平成29年度一般公開講座, 2017年 9月 (長野)
21. 牧迫飛雄馬, 介護予防・認知症予防のための運動療法. 鹿児島大学医学部保健学科理学療法学専攻公開講座, 2017年 8月 (鹿児島市)
22. 牧迫飛雄馬, 運動による認知症予防～理論と実践～. 鹿児島県健康づくり運動指導者協議会全体講習会, 2017年 7月 (鹿児島市)
23. 牧迫飛雄馬, 運動による認知症予防～理論と実践～. 平成29年度千葉県理学療法士会生涯学習研修会, 2017年 7月 (千葉)
24. 牧迫飛雄馬, 認知症予防を目指した地域スキーム～理論と実践～. 第167回垂水医療セミナー, 2017年 7月 (垂水市)
25. 牧迫飛雄馬, 今日からできる認知症予防. 第100回福岡県理学療法士協会学術研修大会, 2017年 6月 (福岡)
26. 牧迫飛雄馬, 高齢者機能健診 (認知機能). 平成29年度第1回コグニサイズ指導者研修会, 2017年 5月 (愛知)
27. 牧迫飛雄馬, 介護予防・認知症予防のために今からできること. 垂水市×鹿児島大学医学部委嘱式・記念講演会, 2017年 4月 (垂水市)
28. 大渡昭彦, 転倒予防教室. 鹿児島市, 2017年 1月 (鹿児島市)
29. 大渡昭彦, 元気力アップ体操講習会. 鹿児島市, 2017年 3月 (鹿児島市)
30. 大渡昭彦, よかよか体操講習会. 鹿児島市, 2017年 3月 (鹿児島市)
31. 大渡昭彦, 新人教育「臨床での心構え」. 鹿児島県理学療法士会, 2017年 4月 (鹿児島市)
32. 大渡昭彦, よかよか体操講習会. POS 連絡協議会, 2017年 5月 (鹿児島市)
33. 大渡昭彦, よかよか体操講習会. 鹿児島市, 2017年 6月 (鹿児島市)
34. 大渡昭彦, 健康づくり推進員体操講習会. 鹿児島市, 2017年 7月 (鹿児島市)
35. 大渡昭彦, 地域包括ケア指導者研修会. POS 連絡協議会, 2017年 7月 (鹿児島市)
36. 大渡昭彦, 新人教育「職業倫理」. 鹿児島県理学療法士会, 2016年 7月 9日 (鹿児島市)
37. 大渡昭彦, ロコモ予防で健康寿命を延ばす. 南日本薬剤センター, 2016年 9月 (鹿児島市)
38. 大渡昭彦, よかよか体操講習会. かわもと相良消化器内科, 2017年10月 (鹿児島市)
39. 大渡昭彦, 谷山健康まつり「よかよか体操で健康づくり」. 鹿児島市, 2017年11月 (鹿児島市)
40. 大渡昭彦, 地域で介護予防を展開するために～鹿児島市の取り組み報告～. 鹿児島県リハビリテーション施設連絡協議会, 2017年11月 (鹿児島市)
41. 大渡昭彦, 木山良二, 川田将之, 理学療法士・作業療法士のためのやさしい生体力学. 平成29年度鹿児島大学医学部保健学科基礎理学療法学講座公開講座, 2017年 6月 (鹿児島市)
42. 松田史代, 転倒骨折予防教室. 鹿児島市保健所, 2017年 1月 6月 8月 (鹿児島市)
43. 松田史代, 新人教育 研究方法論. 鹿児島県理学療法士協会, 2017年10月11月 (鹿児島市)
44. 松田史代, 専門領域トピックス領域 障がい者スポーツ基礎知識. 鹿児島県理学療法士協会, 2017年 6月 (鹿児島市)
45. 松田史代, 身体障害. 平成29年度鹿児島県障害者スポーツ指導員養成講習会, 2017年12月 (鹿児島市)
46. 川田将之, 転倒骨折予防教室. 鹿児島市保健所, 2017年 8月 10月 12月 (鹿児島市)

〔作業療法学専攻〕

A. 著書

1. 赤崎安昭, 民事精神鑑定, 臨床医のための司法精神医学入門改訂版, 日本精神神経学会司法精神医学委員会編集, 新興医学出版株式会社, 東京, p.76-118, 2017
2. 田平隆行, 軽度認知障害と認知機能低下予防の評価と実践, 作業療法マニュアル62 認知症の人と家族に対する作業療法, 日本作業療法士協会 編, 日本作業療法士協会, 東京, p.52-55, 2017

B. 論文

(英文論文)

1. Hasegawa T, Miyata H, Nishi K, Sagari A, Moriuchi T, Matsuo T, Tabira T, Higashi T, Somatosensory cortex excitability changes due to differences in instruction conditions of motor imagery. *Somatosens Mot Res*, 34(3): 151-157, 2017.
2. Yoshimitsu Koji, Tabira Takayuki, Kubota Masatomo, Ikeda Yuriko, Inoue Kazuhiro, Akasaki Yasuaki, Factors affecting the self-rated health of elderly individuals living alone: a cross-sectional study. *BMC Res Notes*, 10: 512-519, 2017
3. Yoshimuta Hirofumi, Nakamura Masayuki, Kanda Eisuke, Fujita Seigo, Takeuchi Kouzou, Fujimoto Toshiro, Nakabeppu Yoshiaki, Akasaki Yasuaki, Sano Akira, The effects of olanzapine treatment on brain regional glucose metabolism in neuroleptic-naive first-episode schizophrenic patients. *Hum Psychopharmacol Clin Ex*, 31: 419-426, 2016
4. Yanagida Nobuhiko, Uchino Toshiro, Uchimura Naohisa, The Effects of Psychoeducation on Long-term Inpatients with Schizophrenia and Schizoaffective Disorder: *The Kurume Medical Journal* 63(3.4), 61-67, 2016

(和文論文)

1. 田平隆行, 高齢者の ADL の特徴, 老年精神医学雑誌, 28 (9) : 978-983, 2017
2. 中間賢二, 窪田正大, 八反丸健二, 脳卒中後の抑うつ症状 (PSD) と心身機能障害との関係について, 鹿児島大学医学部保健学科紀要27 : 1-6, 2017
3. 藤田賢太郎, 築瀬誠 : 作業療法学生の授業に対する課題意識—課題価値測定尺度を用いた検討—. 作業療法36 : 513-523, 2017.
4. 堀田牧, 田平隆行, 石川智久, 橋本衛, アルツハイマー病患者の ADL 障害, 老年精神医学雑誌, 28 (9) : 984-988, 2017
5. 松井裕之, 窪田正大, 有馬ゆかり, 瀬戸山弘貴, 八反丸健二, 認知機能の低下を示した患者の睡眠と注意機能および行動心理症状に関する研究—夕方の軽運動と短時間の睡眠による行動介入の試み—, 作業療法鹿児島23 : 2-8, 2017
6. 吉田昇司, 窪田正大, 佐保郁恵, 竹内直人, 八反丸健二, 重度の左半側視空間無視を伴った脳梗塞患者一症例に対する半側メガネの試み, 作業療法鹿児島23 : 9-15, 2017
7. 田平隆行, 佐賀里昭, 認知症の人のための法的整備と予防事業, *MB Med Reha*, 206, 59-64, 2017
8. 吉満孝二, 窪田正大, 池田由里子, 郡部に居住する独居高齢者の生活実態と主観的健康観—介護保険要介護認定者を対象にした横断研究—. 作業療法36(1) : 26-34, 2017
9. 吉満孝二, 岩瀬義昭, 窪田正大, 池田由里子 : 郡部に居住する独居高齢者の生活実態と主観的健康観—介護保険要介護認定者を対象にした横断研究—. 作業療法36(1) : 26-34, 2017

C. 学会発表

1. 赤崎安昭, 杉山和之, 柳田信彦, 井上和博, 堀切靖, 山畑良蔵, 司法精神医学教育・人材育成の試み—模擬裁判による実践的教育—, 第13回日本司法精神医学会大会, 2017年6月 (大阪)
2. 赤崎安昭, ワークショップ : 統合失調症の精神鑑定—責任能力判定のポイント (司法精神医学委員会), 第113回日本精神神経学会学術総会, 2017年6月 (名古屋)
3. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 健常人における潜在・顕在学習とワーキングメモリの関係, 第41回日本高次脳機能障害学会, 2017年12月 (埼玉)
4. 有菌舞, 橘菌佑真, 柳田信彦 : 精神科一般病棟でのメタ認知トレーニングの参加者満足度からみた有効な実践の検討. 第28回鹿児島県作業療法学会, 2017年3月 (鹿児島)

業 績 目 録

5. 有馬雄太郎, 峯戸松衛, 末廣昌平, 柳田信彦: 対象者への治療技術としての関わり方 ～接遇アンケートを通しての見解～, 第28回鹿児島県作業療法学会, 2017年3月(鹿児島)
6. 石田俊, 窪田正大, 入井祐太, 坂元俊哉, 竹内明禪, 五十峯淳一, 八反丸健二, 高齢者における歩行能力および転倒リスクの検討 —FrailCS-10と10m歩行を用いて—, 第52回日本理学療法学会大会, 2017年5月(千葉)
7. 井上和博, 柳田信彦, 窪田正大, 赤崎安昭, 自閉症スペクトラム障害児が有する模倣講堂の特性—早期からの作業療法的介入を目指して—, 第96回鹿児島精神神経学会, 2017年7月(鹿児島)
8. 井上和博, 柳田信彦, 赤崎安昭: 発達に遅れのある子どもを持つ母親の育児ストレス～健常児の母親との比較検討～, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
9. 上原健一, 吉満孝二, 井料健勝, 平川智士, 斉野裕希, 田中茂穂: 完全/日中独居高齢者のADL・IADLに関する研究, 九州理学療法士・作業療法士合同学会2017in宮崎, 2017年11月(宮崎)
10. 内村栞, 井上和博, 築瀬誠: 幼児期発達障害児を持つ母親の精神健康状態とその関連要因に関する研究, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
11. 大窪美樹, 池村知江, 橋口美沙, 窪田正大, 視力低下を伴う糖尿病患者へのインスリン自己注射確立に向けての試み, 平成28年度鹿児島県リハビリテーション看護研究発表会, 2017年1月(鹿児島)
12. 加藤聡, 飛永浩一郎, 舟木弥生, 丸田道雄, 井手睦, 回復期リハビリテーション病棟における脳卒中片麻痺患者の杖歩行練習導入に関わる因子の検討, 第39回九州理学療法士・作業療法士合同学会, 2017年11月(宮崎)
13. 鎌田浩明, 築瀬誠: 学業的援助要請と信頼感の関連性について, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
14. 鎌田浩明, 築瀬誠: 学業的援助要請形態とコミュニケーション・スキルとの関連について, 九州理学療法士・作業療法士合同学会 2017年11月(宮崎)
15. 小城くみこ, 楠本朗, 赤崎安昭, 堀切靖, 森岡洋史, 自閉スペクトラム症を精神病理学的に理解するための試み(第5報), 第40回日本精神病理学会大会, 2017年10月(仙台)
16. 佐賀里昭, 壺岐尾優太, 木下暢子, 岩波潤, 田平隆行, 化学療法施行中の造血器腫瘍患者に対するADOCを用いたOccupation-Focused-Interventionsの効果, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
17. Sagari A, Ikio Y, Tabira T, Iwanami J, Kobayashi M, Higashi T, Effect of Occupation-Based-Interventions Using ADOC for Hematopoietic Malignancies in Patients during Chemotherapy, The 1st Asia-Pacific Occupational Therapy Symposium, 2017年10月, (Taiwan)
18. 鮫島亮子, 原口友子, 日吉俊紀, 堀ノ内啓介, 高田昌実, 窪田正大, 地方中核病院における回復期リハビリテーション病棟の傾向と課題—FIMアウトカム評価から見えてきたこと—, 回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島, 2017年2月(広島)
19. 清池祥太郎, 岩元祐太, 橘菌佑真, 柳田信彦: 精神科における身体的介入を主体とした作業療法活動の取り組み 第2報 —他職種『機能訓練』に対する認識度調査—, 第28回鹿児島県作業療法学会, 2017年3月(鹿児島)
20. 瀬戸山弘貴, 窪田正大, 八反丸健二, 反復性低頻度経頭蓋磁気刺激と集中的リハビリテーション併用療法後の主観的評価(JASPID)からみた上肢運動機能評価の検討, 第8回 Stimulation Therapy 研究会, 2017年7月(北海道)
21. 田平隆行, 松尾崇史, 丸田道雄, 高橋弘樹, 韓侑熙, 宮田浩紀, 長谷川隆史, 高齢の慢性腰痛患者に対する注意バイアスと恐怖回避思考等の心理的要因との関係, 第29回活動分析研究会, 2017年5月(山梨)
22. 田平隆行, 堀田牧, 村田美希, 吉浦和弘, 石川智久, 小川敬之, 森崇明, 吉田卓, 池田学, 加齢による初期AD患者のADL/IADL自立度低下の特徴, 第32回日本老年精神医学会, 2017年6月(名古屋)
23. 田平隆行, 佐賀里昭, 堀田牧, 菊池潤, 川越雅弘, 要介護認定者における認知症の有無及び重症度がBADL/IADLに及ぼす影響, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月(東京)
24. 高吉進, 窪田正大, 岩村そのえ, 岩村秀世, 藤元登四郎, 失語症患者の実用コミュニケーション能力とADL場面での認知機能との関連性, 第6回日本言語聴覚士協会九州地区学術集会, 2017年1月(宮崎)
25. 高吉進, 窪田正大, 岩村そのえ, 岩村秀世, 藤元登四郎, 失語症患者の認知機能に関する研究—RCPM, FIM認知項目を用いて—, 第18回日本言語聴覚学会, 2017年6月(愛媛)
26. 中園正志, 池村知江, 下赤久美, 大津竜馬, 田中歩惟, 窪田正大, 看護師による口腔ケアの取り組み, 回復期リハビリテーション病棟協会 第29回研究大会 in 広島, 2017年2月(広島)
27. 韓侑熙, 高橋弘樹, 丸田道雄, 宮田浩紀, 田平隆行, 高齢脳損傷患者の表情認知・心の理論とMMSEカットオフ値との関係, 第11回日本作業療法研究学会, 2017年6月(大阪)
28. 韓侑熙, 高橋弘樹, 丸田道雄, 宮田浩紀, 田平隆行, 脳血管障害患者の表情識別能力について, カトリック医療施設協会第53

業 績 目 録

回全国大会, 2017年11月 (香川)

29. 平野順一, 築瀬 誠, 山本泰寛, 俵積田大志, 福盛俊一郎: 臨床実習における「日常生活の制限—6 要因モデル」の有用性について, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月 (東京)
30. 前平勇, 池村知江, 中園正志, 窪田正大, 左大腿骨頸部骨折患者の在宅復帰に向けたチーム医療の試み —看護師と理学療法士による病棟内歩行訓練を実施して—, 平成28年度鹿児島県リハビリテーション看護研究発表会, 2017年1月 (鹿児島)
31. 松井裕之, 窪田正大, 瀬戸山弘貴, 吉田昇司, 八反丸健二, 脳卒中患者における自動車運転に関するパイロットスタディ —SDSA と SiDS を用いての試み—, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月 (東京)
32. 松尾崇史, 山口洋一, 森内剛史, 田平隆行, 東登志夫, 半側空間無視に対するリズム順応療法が音源定位能力に与える即時効果, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月 (東京)
33. 持永博幸, 窪田正大, 小川大輔, 千田尚子, 半側空間無視の日常生活活動での影響について —BIT, CBS-J および FIM の関連性を分析して—, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月 (東京)
34. 築瀬誠: 精神障害作業療法の臨床実習で活用してきた「日常生活の制限—6 要因モデル」の紹介, 九州理学療法士・作業療法士合同学会, 2017年11月 (宮崎市)
35. 矢野幸治, 井上和博, 深野佳和: 未就学児の座位姿勢制御に関する研究, 第51回日本作業療法学会, 2017年9月 (東京)
36. 山本恵子, 池村知江, 池畑飛鳥, 窪田正大, 在宅生活中に残薬を認めた独居高齢者への内服管理の試み, 平成28年度鹿児島県リハビリテーション看護研究発表会, 2017年1月 (鹿児島)

D. その他

1) 論文・報告書

1. 赤崎安昭, ストレス対処行動 (コーピング) には自分自身の工夫が大切, 鹿児島労基, No.699, 7, 2017
2. 赤崎安昭, 「五月病に気付いたら専門医に相談」, (鹿児島産業保健総合支援センター)「さんぼ鹿児島」メールレター第171号, 1-2, 2017
3. 池田学, 石川智久, 田中響, 北村立, 川越雅弘, 小川敬之, 田平隆行, 堀田牧, 村田美希, 吉村和弘, 厚生労働科学研究費補助金長寿科学政策研究事業, 生活行為障害の分析に基づく認知症リハビリテーションの標準化に関する研究, 平成28年度総括・分担研究報告書, p44-49, 2017年3月
4. 中村春基, 池田学, 北村立, 旭俊臣, 栗田圭一, 柿木達也, 田中志子, 田部井康夫, 堀田聡子, 加曾利裕, 田平隆行ほか, 平成28年度老人保健健康増進等事業, 認知症のリハビリテーションを推進するための調査研究報告書, 日本作業療法士協会, p13-17, 2017年3月

(司法精神鑑定)

1. 赤崎安昭, 器物損壊被疑事件 刑事 本鑑定 平成29年2月
2. 赤崎安昭, 住居侵入・窃盗被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年3月
3. 赤崎安昭, 窃盗被告事件 刑事 意見書 平成29年6月
4. 赤崎安昭, 強制わいせつ被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年7月
5. 赤崎安昭, 窃盗被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年9月
6. 赤崎安昭, 住居侵入・強姦致傷被告事件 公判鑑定 (裁判員法50条に基づく精神鑑定) 平成29年10月
7. 赤崎安昭, 殺人未遂被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年11月
8. 赤崎安昭, 窃盗被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年11月
9. 赤崎安昭, 傷害・暴行被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年12月
10. 赤崎安昭, 傷害被疑事件 刑事 簡易鑑定 平成29年12月

(民事精神鑑定)

1. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年1月
2. 赤崎安昭, 保佐開始申立事件 平成29年2月
3. 赤崎安昭, 保佐開始申立事件 平成29年3月
4. 赤崎安昭, 補助開始申立事件 平成29年4月
5. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年5月

業 績 目 録

6. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年7月
7. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年8月
8. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年9月
9. 赤崎安昭, 保佐開始申立事件 平成29年10月
10. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年11月
11. 赤崎安昭, 後見開始申立事件 平成29年11月

(医療観察法に関する業務)

1. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成29年4月
2. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成29年7月
3. 赤崎安昭, 殺人被疑事件 平成29年7月
4. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成29年11月
5. 赤崎安昭, 放火被疑事件 平成29年12月

(労働災害に関する業務)

1. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成29年1月
2. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成29年3月
3. 赤崎安昭, 労働災害に対する意見書 平成29年6月

2) 講演, 他

1. 赤崎安昭, 第8回刑事精神鑑定ワークショップ—精神鑑定の倫理と中立性—, 日本司法精神医学会, 2017年1月(東京)
2. 赤崎安昭, 複数人を殺害した事例の検証, 日本精神神経学会 第7回司法精神医学研修会, 2017年1月(東京)
3. 赤崎安昭, 刑事責任能力鑑定の実際—残忍な犯行態様に関する臨床犯罪精神病理学的考察—, 鶴丸80医学研究会, 2017年2月(鹿児島)
4. 赤崎安昭, 志學館大学法学部合同模擬裁判・殺人被告事件, 第9回鹿児島司法精神医学研究会, 2017年2月(鹿児島)
5. 赤崎安昭, 自閉症スペクトラム障害—事例の提示も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2017年3月(鹿児島)
6. 赤崎安昭, 性格と人格—「心の癖」を知ろう—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2017年3月(鹿児島)
7. 赤崎安昭, カリキュラムプランニング カリキュラム目標設定研修医への学習支援Ⅰ 目標設定 「問題点の抽出と目標設定」計画づくり, 評価 カリキュラムの計画づくり 研修医への学習支援Ⅱ 方略 学習方略の計画づくり(基礎編), 平成28年度精神科七者懇 第2回「臨床研修指導医講習会」, 2017年3月(福岡)
8. 赤崎安昭, 研修医への学習支援Ⅲ 評価 評価の計画づくり(基礎編), 平成28年度精神科七者懇 第2回「臨床研修指導医講習会」, 2017年3月(福岡)
9. 赤崎安昭, 精神鑑定から得た教訓—抑うつ状態の犯罪精神病理学的考察も含めて—, 鹿児島県警察本部 人身安全関連事案対処担当者研修会, 2017年4月(鹿児島)
10. 赤崎安昭, 改正道路交通法における認知症者・家族・医師の「責任」について, 鹿児島県医師会「改正道路交通法に伴う民事訴訟に関する説明会」, 2017年6月(鹿児島)
11. 赤崎安昭, 不安が強い人たち—神経症性障害の事例を通して—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2017年8月(鹿児島)
12. 赤崎安昭, 自宅放火した10年後に殺人未遂に至った事例の検証, 日本精神神経学会 第8回司法精神医学研修会, 2017年9月(名古屋)
13. 赤崎安昭, うつ状態およびうつ病の症状と治療—司法精神鑑定の実際と労働災害も含めて—, 鹿児島地方裁判所 民事訟廷鑑定人研究会, 2017年9月(鹿児島)
14. 赤崎安昭, うつ状態, うつ病の病態と治療を知ろう—事例の提示も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2017年10月(鹿児島)
15. 赤崎安昭, 裁判員裁判の評議につながりやすい精神鑑定をめざして—精神科専門医を対象とした研修会の内容も含めて—, 鹿児島地方裁判所 刑事鑑定人研究会, 2017年10月(鹿児島)

業 績 目 録

16. 赤崎安昭, 改正道路交通法に伴う千藻に・かかりつけ医の法的責任—司法精神医学の立場から—, 平成29年度鹿児島市域精神疾患医療連携体制講習会, 2017年10月 (鹿児島)
17. 赤崎安昭, 薬物依存症者に対する支援について—事例の検証と鹿児島ダルクについて—, 平成29年度薬物中毒対策連絡会議, 2017年10月 (鹿児島)
18. 赤崎安昭, うつ状態・うつ病の精神鑑定から学んだこと, 第10回長崎司法精神医学研究会, 2017年11月 (長崎)
19. 赤崎安昭, 精神鑑定の倫理と中立性, 第9回刑事精神鑑定ワークショップ, 2017年11月 (東京)
20. 赤崎安昭, 精神鑑定演習, 第9回刑事精神鑑定ワークショップ, 2017年11月 (東京)
21. 赤崎安昭, うつ病者の復帰支援について—支援システム及び事例の提示も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2017年12月 (鹿児島)
22. 井上和博: 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 児童発達支援なかよし園, 2017年2月 (鹿児島)
23. 井上和博: 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 子どもすこやか安心ねっと事業スキルアップ研修会, 2017年3月 (鹿児島)
24. 井上和博: 子どものからだの発達を促す関わり方について, ホームスタートビジター養成講座, 2017年6月 (鹿児島)
25. 井上和博: 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 児童発達支援職員職場研修, 2017年6月 (鹿児島)
26. 井上和博: 配慮の必要な子どもの理解と支援, ふじヶ丘保育園幼児保育相談事業, 2017年6月 (鹿児島)
27. 井上和博: 子どものからだの発達を促す関わりについて—8ヵ月～1才11ヵ月を対象に—, 鹿児島市親子つどいの広場なかまっち, 2017年8月 (鹿児島)
28. 井上和博: 子どものからだの発達を促す関わりについて—8ヵ月～11ヵ月を対象に—, 鹿児島市りぼんかん, 2017年8月 (鹿児島)
29. 井上和博: 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 児童発達支援研修会, 2017年9月 (鹿児島)
30. 井上和博: 子どもの「手の動き」の発達, 桜丘養護学校研修会, 2017年9月 (鹿児島)
31. 井上和博: (公開講座) 児童発達支援における作業療法士の視点, 地域と繋がる役割～アイデア集作成とその活用を通して～, 第60回作業療法全国研修会, 2017年10月 (滋賀)
32. 井上和博: 子どもの気になる行動の理解と対応～作業療法士の視点から～, 児童デイサービス, 2017年11月 (鹿児島)
33. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援, くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2017年11月 (鹿児島)
34. 井上和博: (公開講座) 児童発達支援における作業療法士の視点, 地域と繋がる役割～アイデア集作成とその活用を通して～, 第61回作業療法全国研修会, 2017年12月 (新潟)
35. 井上和博, 子どもの発達と遊び～作業療法士の視点から～, 発達支援 K-OT チーム研修会, 2017年12月 (鹿児島)
36. 窪田正大, 生活場面での高次脳機能障害を考える, 始良高齢者保健福祉圏域 地域リハビリテーション研修会, 2017年3月 (始良市)
37. 窪田正大, 脳卒中と認知リハビリテーション, 宮崎県立小林高等学校出前講義, 2017年10月 (宮崎)
38. 窪田正大, 生活場面での高次脳機能障害を考える —注意障害・記憶障害・遂行機能障害—, 鹿児島大学 医学部 保健学科 作業療法学専攻 基礎作業療法学講座 公開講座, 2017年10月 (鹿児島市)
39. 田平隆行, 認知症予防と生きがいづくり, 鹿児島県作業療法士協会市民公開講座, 2017年2月 (始良)
40. 田平隆行, 世界および日本における認知症の課題, 鹿児島県作業療法士協会, 認知症 UD 研修会, 2017年8月 (鹿児島)
41. 田平隆行, 認知症高齢者の理解と対応, コープ指宿, 2017年8月 (指宿)
42. 田平隆行, 認知症の理解と対応・接し方, コープ鹿屋, 2017年9月 (鹿屋)
43. 田平隆行, 軽度認知症の生活障害とリハビリテーション, 平成29年度鹿児島大学医学部保健学科基礎作業療法学講座公開講座「認知症と高次脳機能障害のリハビリテーションの実践」, 2017年10月 (鹿児島)
44. 田平隆行, 認知症の生活行為障害の分析とリハビリテーション介入, リハビリテーション・ケア合同研究大会 久留米2017, 2017年10月 (久留米)
45. 田平隆行, 認知症の理解と対応・接し方, 生協コープかごしま, 2017年11月 (鹿児島)
46. 築瀬誠, ゼロから始める研究法～データを集める・整理する・比較する～, 平成29年度鹿児島県作業療法士協会研究法研修会, 2017年7月 (鹿児島),
47. 築瀬誠, 作業療法学, 平成29年度宮崎県立都城西高等学校出前講義, 2017年7月 (都城)
48. 築瀬誠, 生活のしづらさを6つの要因で理解する～デイケアの可能性～, 平成29年度かごしまデイケア連絡協議会第1回研修会, 2017年8月

業 績 目 録

49. 築瀬誠, 精神科作業療法の歴史とこれからの展望. 鹿児島県作業療法士協会平成29年度現職者選択研究会, 2017年11月 (鹿児島)
50. 築瀬誠, 統合的なアプローチ-治療法・援助法のいろいろ- :平成29年度 NPO 法人鹿児島県精神保健福祉連合会施設部会, 2017年11月 (鹿児島)
51. 吉満孝二, アクティビティを考える. 社会福祉法人常磐会法人 利用者家族のための研修会, 2017年1月 (鹿児島)
52. 吉満孝二, 姿勢と歩行について (前編). 社会福祉法人常磐会法人研修会, 2017年3月 (鹿児島)
53. 吉満孝二, 姿勢と歩行について (後編). 社会福祉法人常磐会法人研修会, 鹿児島市, 2017年3月 (鹿児島)
54. 吉満孝二, 高齢者の孤立について. 鹿児島市草牟田地区民児協研修会, 2017年5月 (鹿児島)
55. 吉満孝二, 食事動作. 社会福祉法人常磐会法人研修会, 鹿児島市, 2017年3月 (鹿児島)
56. 吉満孝二, 先進的見守り活動の視察報告. 鹿児島市明和地区ボランティア研修会, 2017年9月 (鹿児島)